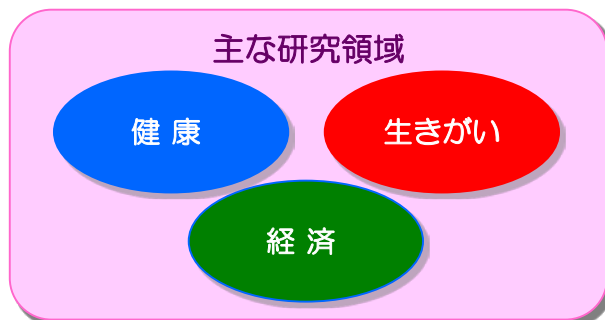


## 財団の目的と事業・研究の領域

三菱グループにより設立された当財団は、調査・研究活動を通じて高齢社会の保健、医療、福祉などの課題解決をめざし、公益に寄与しています。



公益  
目的  
事業

### 主な研究・調査活動（2017年度）

#### 〔ダイヤ財団主管研究〕

- 介護 QI によるケアサービスの質の評価研究
- 新総合事業の効果検証に関する自治体共同研究
- シルバー人材センターの社会的有用性に関する研究
- うつ予防プログラムの効果検証及び定着普及に関する研究
- うつ予防・支援のための広域大規模集団における介入実証研究
- 地域高齢者の精神的健康度の予後に関する縦断的研究
- 国際保健事業の長期的評価のための調査研究
- 都市高齢者の社会関係周縁部に関する研究
- 中高齢者の交流媒体としての電子メールに関する研究
- 高齢期の社会的自立の維持に ICT の果たす役割に関する研究
- ゆるやかなソーシャルキャピタルを醸成する介護予防事業の構築・継続要因に関する研究
- 高齢社会に係る諸課題に関する WEB 調査

#### 〔分担・共同研究〕

- 特別養護老人ホームの終末期ケアにおける多職種連携とケアの質の評価に関する研究
- 地域在住高齢者の社会的孤立の支援構築に向けた予防的介入の効果検証
- 杉並区制 80 周年共同研究「健康長寿モニター事業」

### 主な普及・広報活動（2017年度）

講演会・シンポジウム  
などイベント開催

研究論文・研究報告書・  
学会発表

機関誌『Dia News』・  
調査報告書などの発行

社会老年学文献データ  
ベース「DiaL」の提供

うつ予防プログラム  
「ハッピープログラム」

シニアが楽しむエアロ  
ビック「ダイヤビック」

収益  
事業  
・  
その  
他  
事業

調査研究を通じて得た  
知見・技術等を活用する  
受託事業

賛助会員関連団体の  
高齢者の社会貢献活動  
に対する協力・支援